

令和8年2月10日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

## 麻しん患者の発生について

令和8年2月9日（月）、一関保健所管内の医療機関から一関保健所に対し、麻しんの症状が疑われる患者が1名発生したとの連絡があり、検体を県環境保健研究センターで検査したところ、2月10日（火）に陽性が確認されましたので、お知らせします。

記

### 1 患者の概要

- (1) 居住地：一関保健所管内
- (2) 年代、性別：20代、男性
- (3) ワクチン接種歴：不明
- (4) 渡航歴：あり（令和8年2月3日にインドネシアから入国）
- (5) 主な症状：発熱、咳、鼻水、発疹等
- (6) 検査確定年月日：令和8年2月10日（火）
- (7) 発症日：令和8年2月5日（木）

### 2 行動歴

現在調査中です。

なお、麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされていますので、麻しん患者が利用した施設を現在利用しても感染の心配はありません。

### 3 県民の皆さまへのお願い

- ・ 発熱、発疹等の症状から麻しんを疑う症状（裏面）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。  
また、移動の際は、周囲への感染を拡げないよう、可能な限り公共交通機関等の利用を避けてください。
- ・ 麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種（1歳と小学校入学前）がお済みでない人は、接種を検討してください。

### 4 特記事項

本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、患者及び家族等の個人情報については、プライバシーの保護の観点から、本人等が特定されることのないよう、特段の御配慮をお願いします。

### 5 麻しんの発生状況

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年※
岩手県	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	23

※岩手県の情報は2026年2月10日現在です。

全国の情報は2026年第5週（令和8年1月26日から令和8年2月1日）までの累積速報値です。

【担当 感染症担当 松舘 019-629-5417】

## 麻疹（はしか）について

- 1 麻疹の潜伏期間は、通常 10～12 日間であり、麻疹患者と接触した場合には、接触後 3 週間（21 日間）注意が必要です。
- 2 感染すると約 10～12 日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が 2～4 日続き、咳、鼻水といった風邪のような症状が出ます。  
  
その後、少し体温が下がり、再び高熱（多くは 39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。  
  
発疹出現後 3～4 日間で解熱し症状は軽快、合併症のない限り 7～10 日後には症状が回復します。
- 3 感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。
- 4 発症した人が周囲に感染させる期間は、発症日の 1 日前から解熱後 3 日間を経過するまでの期間と言われています。